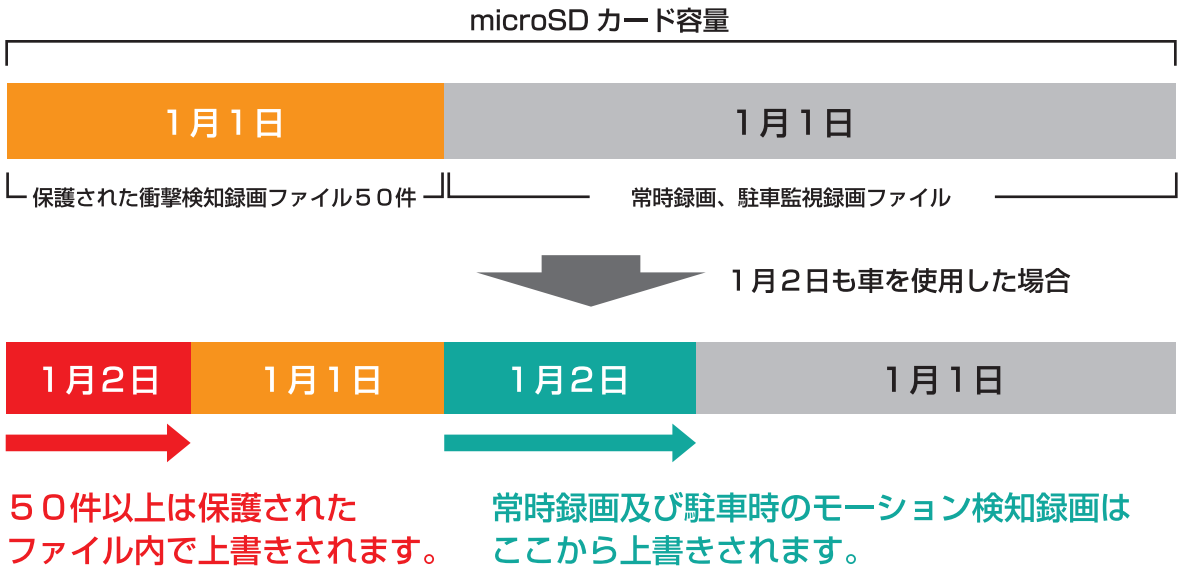
ファームウエアのアップデートによる機能追加のご案内

Wi-Fi 対応ドライブレコーダー DR-SFT1 / DR-SAB1 / DR-SAR1 / DR-SJP1 のファームウエアデータを改良し、
一部機能を追加いたします。変更点は下記の内容になります。

旧ファームウエア V1.000	録画ファイルの保護機能はありません。 microSD カードの空き容量がなくなった場合は、 録画ファイルの種類に関係なく、古いファイルから上書きされます。
新ファームウエア V1.001	衝撃検知録画ファイルを保護する機能を追加しました。 最大 50 件まで保護することが可能で、上書きの防止になります。 ※リアカメラも使用した場合はフロント / リアの合計で 50 件まで保護されます。 ※駐車監視時の衝撃検知録画も含みます。

**例　１月１日に車を使い、録画ファイルで microSD に空き容量がなくなった状態で、
１月２日から車を使って録画を開始した場合**



**衝撃検知録画は保護され、常時録画などで上書きされることはありません。
また５０件以上は衝撃検知録画ファイル内で古いファイルから上書きされます。**

※衝撃検知録画ファイルを上書きしない、もしくは保護しないようにすることも設定で変更可能です。
※ファームウエアアップデート後は自動的に保護される設定になります。
※機能を使用するには、本体のファームウエアアップデート及びアプリ、PC ビューワーのアップデートが必要です。
　新しいバージョンに関しましてはファームアップデータと同時リリースいたします。

追加機能を使用するためには
各ソフトウエアのアップデートをお願いいたします

各ソフトウエアのアップデートデータは 2/3 PM13:00 よりリリースいたします。

アプリ・・・・V1.00 から V1.02 へアップデートが必要です。

アプリを起動時、最新版があるアナウンス画面が出ますので指示に従ってアップデートをお願いいたします。
※スマートホンの設定によっては自動的にアップデートされている場合がございます。

ドライブレコーダー本体・・・・ファームウエアのアップデートが必要です。

V1.02 のアプリもしくは PC からアップデートが可能です（方法が二通りございます）

■アプリからアップデート

①アプリを V1.02 にアップデートした後で、アプリ TOP 画面の「ファームウエアダウンロード」を選択します。
②最新のファームウエア V1.001 がダウンロードできますのでアプリにダウンロードします。
③ダウンロード後、ドライブレコーダー本体と Wi-fi 接続します。
④アプリの「Wi-fi」→右上の「 ⚙ 」→「ファームウエアのアップデート」を選択します。
⑤アップデートが可能な表示が出ますので「OK」を選択します。アップデートが開始されます。
⑥再起動後、アップデートが完了します。（数分かかる場合がございます）

■PC からアップデート

①各ブランドの公式ホームページから最新のファームウエアを PC にダウンロードします。
②ダウンロードしたファイル解凍し、ドライブレコーダーの microSD カードにコピーします。
　※元のフォルダ「DR-SFT1」に上書きしてください。上書きしても設定、録画データは残ります。
③ファイルを入れた microSD カードをドライブレコーダー本体に差込、電源を入れます。
④自動的にアップデートが開始されます。再起動後、アップデートが完了します（数分かかる場合がございます）

※上記アップデート方法は取扱説明書にも記載しております。

PC ビューワー・・・・再度ダウンロードが必要です。

各ブランドの公式ホームページから PC ビューワー V1.01 を再度ダウンロードをお願いいたします。

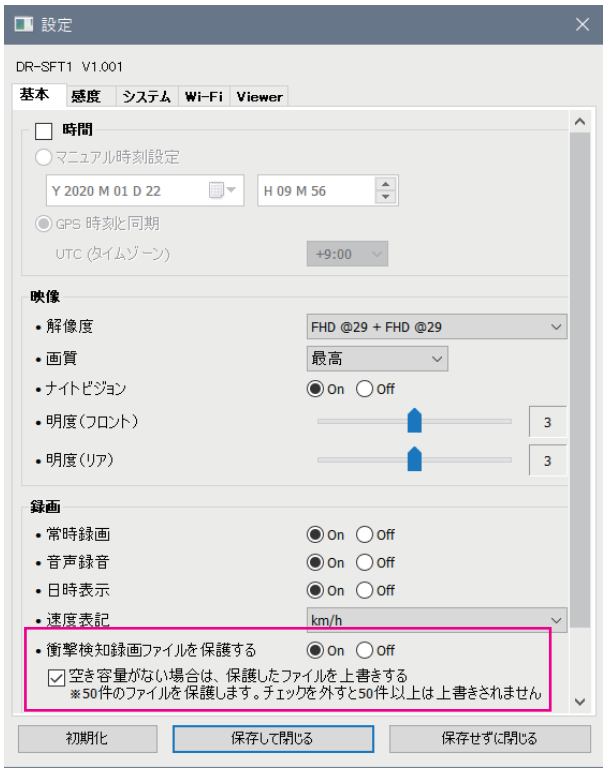
アップデート後の変更点

録画設定の画面に下記の通り設定項目が追加されます。

アプリ画面（iOS/Android）

Mac 版 PC ビューワー

Windows 版 PC ビューワー



追加された項目について

■衝撃検知録画ファイルを保護する

オンにすると衝撃検知録画ファイルを最大 50 件まで保護します。

注意：衝撃検知録画ファイルは 50 件を超えた場合、古いデータから上書きされます。リアカメラを使用した場合はフロント / リアの合計で 50 件まで保護されます。駐車監視時の衝撃検知録画も含みます。

オフにすると衝撃を検知してもファイルは保護されず、常時録画と同じ様に上書き保存されていきます。

■空き容量がない場合は、保護したファイルを上書きする

オフにすると衝撃検知録画ファイルが 50 件を超えた場合、それ以降の衝撃検知録画ファイルは保護されずに上書き保存されます。

注意：オフにした場合、衝撃検知録画ファイルを手動で削除、整理を行う必要がございます。

注意

衝撃検知録画ファイルは保護され上書きされにくくなりますが、事故後は必ず電源を切り、microSD を本体から取り出して保管してください。